

2014年5月号

今月の主張

健保組合の将来を決する重要な年 高齢者医療制度改革の実現へ —新たな広報戦略を発進—

新年度に入って早くも1カ月。新緑がまぶしい季節になりました。17年ぶりの消費税率の引き上げをはじめ、さまざまな制度の仕組みが変わるなか、新生活がスタートしましたが、そろそろ新しい環境にも馴染んできたころではないかと思えます。

「1年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、1年の計画や目標を改めて振り返り、確認や見直しを考えるふさわしい時期かもしれません。

ところで、私たち健保組合・健保連にとって2014年は、これまでにない重要な年になると考えています。それは、来年に予定されている医療保険制度改革の内容が、今年中に決定することとされているからです。

このため、健保組合・健保連は、広報事業を中心にした新戦略として『あしたの健保プロジェクト』を立ち上げ、活動に取り組むことにしました。

今、健保組合は、確実に増え続ける医療費の負担によって、厳しい財政状況に立たされています。多くの健保組合が毎年のように保険料の引き上げを余儀なくされており、企業と現役世代の従業員の家計を圧迫しています。

医療費の増加には、人口の高齢化や医療技術の進歩など、さまざまな要因がありますが、とくに、高齢者人口の増加に伴う高齢者医療費の増加が、健保組合財政に大きく影響します。健保組合は高齢者の医療費に対し、保険料のなかから支援金・納付金を拠出していますが、保険料収入に占める割合は全健保組合の平均で約5割に達しています。

なかでも、65～74歳の前期高齢者医療費に対する納付金は、いわゆる団塊の世代が12年から前期高齢者に移りはじめ、今後、一層増大していくことが見込まれています。

こうした状況に対し、健保組合は保険料の引き上げだけでなく、加入者に対する健康づくりなどの本来の事業を縮減せざるを得なくなっています。

来年の医療保険制度改革には、ぜひとも高齢者医療制度の見直しを課題にあげ、年内に決める15年10月の消費税率の再引き上げ（8%→10%）の税収分を前期高齢者医療費に投入してもらう必要があるのです。こうした健保組合・健保連の主張・要望が実現できなければ、私たちの保険料負担は際限なく膨らみ、健保組合が誇る保険者の機能は発揮できなくなってしまいます。

『あしたの健保プロジェクト』は、主張・要望の実現に向けた活動の1つの柱に位置づけ、展開します。健保組合と健保連の力を結集し、一体的な広報事業に取り組み、成果につなげることが目標です。

健康保険を含む医療保険制度の将来を、「他人ごと」でなく「自分ごと」として、健保組合の事業主や加入者だけでなく、幅広い各層で考える契機にしてもらいたいと考えています。

まずは、プロジェクトのロゴマークを作成しました。これを健保組合・健保連の広報誌やホームページ、ポスターなどに活用し、周知に努めていく予定です。さらに、これからの活動のシンボルに位置づけ、各種の情報を発信していきます。

『—健康保険のみらいをみんなでつくる—あしたの健保プロジェクト』—。
今、はじまります！

けんぽ単語帳

■健康保険料

健康保険料は、サラリーマンの毎月の給与やボーナスから差し引かれ、事業主が負担している分と一緒に、加入している保険者（健康保険組合など）に納められています。

集められた健康保険料は、みなさんが病気やケガで医療機関にかかった際の医療費の支払い（みなさんが病院に支払った医療費をのぞいた残りの分）、医療費が高額になった際の医療費の支給、がん検診や、ご家族の方への健康診断の実施など、みなさんの健康をサポートするための保健事業などに使用されています。

また、各保険者は、高齢者の医療費を支えるためのお金を健康保険料から出合っていて、その額は、健保組合全体の健康保険料収入の約5割を占めています。

なお、自身の健康保険料は、給与明細書の控除欄にある「健康保険（料）」という項目で確認できます。

■健康保険証

健康保険証は、被保険者証ともいい、いずれかの公的医療保険に加入していることを示す証です。

保険医療機関などにかかった際、月始めの診察で健康保険証の提示を求められるのは、医療保険への加入を確認するためです。加入が確認されると、窓口での支払いに保険が適応され、実際にかかった医療費の3割の支払いで済むこととなります。※負担割合は年齢などによって異なります。

健康保険証は大切な証であり、加入先の保険者への問い合わせなどに使用することもありますので、きちんと保管しましょう。

なお、健康保険証は本人のみが使用できるものなので、安易に友人に貸したり、借りたりすることは絶対に止めましょう。

また、加入している健保組合などは健康保険証の「保険者名称」で確認できます。

意思表示を無視した治療

【相談】

89歳の母は、姉夫婦と同居していて5年間寝たきりでした。1週間前、母が誤嚥性肺炎を起こしていることがわかり、在宅医の紹介で入院しました。入院のとき、姉の判断で「急変することがあっても自然の経過に任せたいので、延命治療は望みません」と伝え、カルテにもそのように記載されたそうです。

入院の3日後、「いつ急変されるかわからない状況なので、もう一度ご家族の意思確認をさせてほしい」と病院から言われたそうで、私たち3姉妹が病院に集まり、話し合いをしました。その結果、人工呼吸器や心臓マッサージ、昇圧剤の使用など、具体的に望まない延命治療の意思表示を書面でしました。担当医からは、呼吸器をつけることの患者自身の心身の負担、一度人工呼吸器をつけると外すのに困難が伴うことの説明もありました。

ところが昨日、病院から姉のところに電話がかかってきて、「お母さんの呼吸の状態が急に悪化したため、副院長の判断で人工呼吸器を装着してしまったのです。そのため、人工呼吸器装着の承諾書にサインをしに来てください」と言われたというのです。いまから病院の説明を聞きに行くことになっているのですが、どうにも納得できません。

【コメント】山口育子（COML）

救急搬送されて救命のためにつけられた人工呼吸器ならまだしも、入院時に家族から延命治療を希望しないことが伝えられ、カルテにそれが記載されたということは、病院側も了解したということです。さらには、再度意思表示が求められ、今度は望まない延命治療の項目も具体的に書面で指定されていました。にもかかわらず、「副院長の判断で装着したから、承諾書にサインを」というのは、病院の対応として責任感や誠実さが感じられません。

病院側の説明を受けに行かれる直前のお電話だったので、まずはどのような経緯で副院長が人工呼吸器を装着したのか、副院長は家族の意思表示を理解し

ていたのかを確認してはどうかとアドバイスしました。そのうえで、家族としては明確に意思表示をしていたのだから、承諾書のサインではなく、人工呼吸器を外すことが可能になる手続きについて病院に説明を求めてはどうかとお伝えしました。

「旅」の提案をしてみませんか

からだが不自由になると、宿泊を伴う外出を躊躇しがちです。旅行好きだった親が、最近出かけなくなったということはありませんか。

ツアーに参加しても、他の参加者に迷惑をかけるのではないかと不安視する高齢者の声は多いものです。「トイレを探しているうちに、集合時間に遅れてしまって。その次、新幹線のツアーに参加したときは、夫が体調を崩して…。もう旅行はあきらめました」と話す女性（79歳）は、とても寂しそうでした。

先日、Aさんは実家に帰省した際、両親を1泊旅行に連れ出しました。父親は要介護1。日々の介護は母親が担っていますが、2人だけの閉塞感からか最近では会話も少なくなっていることが気がかりでした。自宅から車で2時間ほどの距離の温泉までタクシー移動。タクシーと宿泊がパッケージになっており、思いのほかリーズナブルだったそうです。「車窓の風景が変わるにしたがい、両親の顔がほころぶのが分かりました。久しぶりに温泉に入り、2人共、とても喜んでいました。また、誘います」とAさん。

最近は、体力に自信のない高齢者や障がい者が国内外の旅行を楽しめるようにサポートする旅行会社も増えています。家族と一緒に参加するケースだけでなく、ヘルパーや看護師、医師が同行することで、からだの不自由なお年寄りの一人参加を可能にするツアーなどもみられます。旅行というチャレンジが日々の自信につながることも。「旅好き」の親であれば、一度勧めてみませんか。

2014年5月号

温泉 de 健康に vol.26

温泉と宿のライター 野添ちかこ

第26湯 肘折温泉（山形県・大蔵村）

1200年の古湯と名物の朝市

朝5時30分、温泉街に朝市が立つ。農家のおばちゃんたちが売るのは、この辺りで採れた野菜や山菜、お手製のシソ巻きやたくあん。珍しいものではマムシなんかも並んでいる。

肘折温泉は1200年を超える古湯。肘を折った老僧がこの湯で傷を治したという逸話が残る。朝市で食材を買い込んで、1週間くらい滞在する湯治客がいまでもたくさんいる、古くからの湯治場だ。

江戸時代からの契約講「肘折三十六人衆」は、共同で湯を守り、管理する自治組織。

宿が所有する自家源泉10本のほか、エリア内には全部で17本の源泉がある。湯の権利を持つ人は限られており、ものごとを決めるのはすべて合議制なので、よそ者が大型ホテルを建てることもない。のどかな湯治場風景が残る希少な温泉地だ。

「つたや肘折ホテル」の湯は、緑がかってつるつるとした感触。成分が濃いため床はオレンジ色に変色している。

湯治料金は1泊3食で5000円程度。一人旅も同じ料金。ゆったり、ほっこり、日本の原風景に会いに行こう。

温泉DATA

泉質：ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉

特徴：重曹成分が汚れをとり、塩分が保温パック

つたや肘折ホテル TEL:0233 - 76 - 2321

2014年5月号

追ってけ！カルチャー vol.38

明知真理子

おとぎ話の主人公たちが現代で目指すハッピーエンド

タイトルの「ワンス・アポン・ア・タイム」とは、物語が始まる時の「むかしむかし」。おとぎ話の主人公が総出演だ。

とは言え舞台は現代アメリカの「ストーリー・ブルック」という街。主人公たちの状況は、おとぎ話とはずいぶん違う。白雪姫は恋に悩む教師、チャーミング王子は身元不明の入院患者、赤ずきんは派手なウェイトレス、ピノキオに登場するコオロギは悩み多きカウンセラー…と、どこか憂いを帯びている。実はそれは、悪い魔女の呪いのせい。主人公たちは記憶を失い、この街に閉じ込められているのだ。その魔女がこの街の町長となると、これは事件が起こらないワケがない！

呪いを解く鍵は、白雪姫の娘だというエマ。彼女と関わる中で、主人公たちは本来の自分を取り戻していく。彼らが勇気を振り絞り、困難を乗り越える姿に、「そして幸せに暮らしましたとさ」というハッピーエンドには、本人の努力が不可欠なのだと思うのは、深読みだろうか。

映画『トロン・レガシー』や、人気ドラマシリーズ『LOST』の制作スタッフが手がけるこのドラマ、内容も美術も一流。昔と今の話が交互に織り込まれ、主人公たちの衣装や舞台のセットも見ものだ。

さて、私事だが筆者の子供時代、毎週末、家族で1本のビデオを観る習慣があった。会話を交わさず同じ空間にいられるビデオ鑑賞は、思春期の家族との気まずさも緩和してくれたように思う。

緩やかな団欒のひとつとして、家族でおとぎ話を復習しながら観るのも、楽しいのではないだろうか。

『ワンス・アポン・ア・タイム シーズン1 Vol.1』(1,429円+税)

昨年9月からNHK BSプレミアムで放送されていた海外ドラマのDVDがウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパンより発売中。2月5日からはレンタルも開

始。

©2014 ABC Studios.